



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
Tel 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索



WEB: <http://siminnokai.com>
e-mail: koe@siminnokai.com

あの日から6年 平和ネットが集会



2015年9月19日、安保法制（戦争法）が自公によって強行採決されたあの日から6年。忘れることの出来ない9月19日、「平和をあきらめない北九州ネット」は、小倉駅と黒崎駅の広場で、「市民と野党の共闘で、自公政権に代わる新しい政治をつくろう!」と訴えました。

小倉駅前広場

小倉駅前広場の集会には80名が参加。田村貴昭さんが挨拶し、城井崇さんがメッセージを寄せられました。田村貴昭さんは、総選挙にのぞむ市民と4野党の共通政策を紹介。「安保法制廃止、核兵器禁止条約の批准、辺野古基地建設中止、コロナ禍の人と企業の救援、消費税減税、原発のない脱炭素社会、選択的夫婦別姓制度やLGBT平等法の制定、権力私物化の真相究明など政権交代で実現する。こんなに素晴らしいことはない。立憲主義、民主主義、平和主義の快復へ、力を合わせましょう。」とアピールしました。

黒崎駅前広場

黒崎駅前広場の集会には50名が参加。緒方林太郎さんと仁比聡平さんが挨拶しました。

仁比さんのFBより：【あの日から6年】安倍政権による安保法制強行採決から6年目。まさにその安倍・菅政治の衰れで愚かな末路がさらけ出され、いよいよ衆院総選挙が目前に迫るなかでの決意の日。久しぶりに緒方林太郎前衆議院議員と。（まじま省三前衆議は大分の演説会で間に合わず、その分私がんばりました（笑））

緒方さんの熱のこもった挨拶もご自身のFBに掲載されています。ぜひご覧になってください。

市民の会「企画運営委員会」開催

9月21日、幹事会を準備するための企画運営委員会が開催されました。主な検討項目と決定事項は、以下の3点です。

①9月4日（土）午前、小倉リーセントホテルで行った「区域区分見直し」に関する意見交換会は有意義であった。「区域区分見直し」問題と資料の説明が明快で認識を共有できた。各区からの報告と意見交流も活発で問題点を共有できた。今後、各区で学習会等を組織し、各区民の会の取り組みを中軸にする。

②「女性の会」として、コロナ禍のもとで、市民アンケートをとり、市民要求・政策化をして市長選につなげていくことの要請があり承認した。アンケート期間（11月～3月）、市民の会HPからアンケートに回答できるようにする。

③幹事会は10月9日（土）14時から、ウエルとばた8F会議室で開催する。4日の企画運営委員会で人事案（代表委員、幹事会、企画運営委員会、事務局）、決算・予算案を検討した。幹事会議案は次回事務局会議（10月6日）で検討し作成する。

第33回定期大会 北九州地区労連



議案を採決する北九州地区労連定期大会

9月19日、北九州地区労連は、第33回定期大会を開催。大会は、新屋敷副議長の開会挨拶、永富議長による主催者挨拶、大会に寄せられたメッセージ20通の紹介をし、議事に入りました。2020年経過報告、2020年収支報告、会計監査報告、2021年運動方針（案）、2021年秋期闘争

方針（案）、2021年予算（案）、規約・規定の改正について永吉事務局長・堀田副議長が提案。議案についての質疑討論は、8人の代議員が行い、議案は満場一致で採択されました。

北九州地区労連新体制は、議長に永富、副議長に安達・安藤・永吉・道下・新屋敷、事務局長に堀田、事務局次長に今泉、幹事10人と合わせ18人体制となりました。大会スローガン・大会宣言を満場の拍手で確認、厳しい状況での開催でしたが無事成功裏に終わることが出来ました。

北九社保協通信

報告・資料集 2021年9月号
9月22日 事務局発行

総選挙でいのちとくらしを守る政権交代を!

「生保110番」に8件の相談。10月23日はコロナ相談会

9月21日（火）に2ヶ月に1度の定例開催である「生活保護110番」を実施しました。電話相談が中心ですが、この日はチラシを見て「直接相談したい」と2人が相談会場に来られました。そのうちの1人65歳男性は「昨年、体調を壊し雇止め、老齢年金の滞りや支給で何とか生活をしてきたがそれも無くなった。年金は月に7万円。生活保護の受給は可能ですか?」との相談。「今の状況は要保護状態なので直ぐにでも保護申請を」と勧め、申請したいが扶養照会が気になることと「68歳になる姉と70歳の兄がいるが10年以上、連絡をとっていない。役所から連絡が行くとなると余計な心配をかける事になる」とためらっていたため、「高齢な親族や長年、首肯不遇の場合は考慮されるので安心して下さい。」と説明をしながら「申請に行きつづけたらいい場合はすぐに連絡して下さい。力になりますから」と伝えると「わかりました。直ぐにでも役所に行ってみよう」と言われ帰られました。生活に困窮しているが生活保護が受けられるのか?申請しても大丈夫なのか?と迷った「悩んでいて多くの方々に、相談会や社保協の存在を知って頂くことが重要とあらためて実感します。常日頃から悩んでいる方や困っている方一人でも多く救えるよう、引き続き取り組んでいこうと思っています。」



相談の相談に対応する高木弁護士と主催者の八尾氏

「いのちまもる!緊急行動」に参加。

医療・介護・社会保障の立て直しを市民へアピール!

9月5日（日）11時より全国一斉総起の提唱を受け、ここ北九州でも地区労連を中心に北九社保協も呼びかけ団体に参加し、連署の行動に取り組みました。緊急事態宣言下という事もあり参加人数も概ね、賛同した各団体や議員など集まった43名で感染対策を十分に

とりながら大判ポスターや垂れ幕によるスタンディング宣伝や署名活動など旺盛に取り組みました。リレートークでは在宅、保健所職員から現場の実態や体制強化を訴えるメッセージが、医療現場及び病院運営の立場からコロナ禍での逼迫状況や病床確保の困難さなど切実な声、利用者代表として75歳以上医療費2割化阻止を求める発言がありました。それをうけケアを大切に

する立憲野党を代表し、日本共産党荒川市議が「北九州でも市民と野党の共闘を前進させ、総選挙ではいのちとくらしを守る政治へ転換させよう」と訴え、最後に今後の行動提議を確認し総会となりました。広く市民へアピールできた集会成为ったのではないかと感じています



3月7日「ウエル」を走る北九社保協会長の高木弁護士（中央）

第18回総会 9条の会・北九州憲法ネット

9月18日（土）、「9条の会・北九州憲法ネット」の総会と記念講演には、47名が参加、成功裏に終わりました。総会では、荒牧座長が開会挨拶、三輪副座長が活動経過・活動方針・役員人事・会計報告を一括提案し了承されました。

記念講演は、石川捷治氏（九州大学名誉教授）が「『半クーデター政権』崩壊と統一戦線の行方」と題して熱く語られました。講演内容は、①9.18は過去の歴史的問題ではない、②菅政権の崩壊をどうみるか、③安倍・菅政権は「半クーデター」政権である、④日本における新しい人民戦線運動、であった。

最後に、憲法が本当に生かされる政治にするためには、歴史的総選挙を頑張るときだと結ばれました。



講演する石川捷治氏

2023年北九州市長選挙にむけて 政策づくりスタート



(左から) 開会あいさつする三輪事務局長と市政報告をおこなう荒川徹・日本共産党北九州市議団長、区分区域見直し問題を報告する山内涼成市議

平和とくらしを守る北九州市民の会第30回幹事会が10月9日午後、戸畑区のウエルとばたで開催され、2023年北九州市長選挙に向けた政策づくりなどを含めた、新しい活動方針案について討議しました。加盟団体の代表者など約20名が参加し、活発な意見交換、問題提起が出されました。

三輪俊和事務局長は参加者からの意見や要望を踏まえ、「コロナ対策や区分区域見直し、公立幼稚園全廃など、北九州市にはたくさんの問題点があることを共有することが出来た。強大な組織化を図り、問題解決に取り組んでいかないといけない」とまとめ、北九州市長選挙を視野に入れた活動方針の実行を約束しました。

第30回幹事会活動方針 (要約)

<基本方針> コロナ対策をはじめ国の悪政から 市民のいのちとくらしを守る市政へ

北橋市政(2007年発足)は、「元気発進!北九州」プラン(2008年)及び「北九州市新成長戦略」(2013年3月、2016年3月改定)とこれを支える「行財政改革大綱」(2014年2月)の推進により、住民福祉を後退させ、急速な人口減少と地域経済の崩壊をもたらしてきました。さらにコロナ禍は、北九州市においても自民・公明政権の下での医療切り捨て、ケア労働を蔑ろにする政治の矛盾を表面化させました。一日も早いコロナ収束のためにも市政の転換が求められています。1年後の北九州市長選挙を展望し、市民のいのちとくらしを守る市政を実現するために、北橋市政に対抗する市民要求を積み上げた政策づくりと市民要求運動の高揚をはかる施策を実施していくことが必須の課題です。

<具体的方針> 市民のいのちとくらしを守る市政を実現するために

- ①市長選対策: 1年後の北九州市長選挙を闘う体制づくりに、いまからとりくみます。市長選挙を見据えての市政分析・政策活動に今から取り組んでいきます。市長選挙を共闘して闘うために、他団体との話し合いをすすめて、政治確認団体の結成を目指します。
- ②当面する市民運動: 「高齢者福祉乗車券」署名活動を継続するとともに、公共交通やおでかけ交通などの問題で建築都市局との協議の場を設定するよう取り組みます。「区域区分見直し」問題は、基本方針の撤回を求める住民運動が各区で起こりつつあります市民の会として住民運動を応援し、諸施策を検討・実施していきます。
- ③「女性の会」は、コロナ禍の下で、北九州市の女性の実態をつかむための市民アンケートにとりくみます。市民要求として政策化し、市長選につなげていく活動が提起されています。これを全面的に支援していきます。
- ④社会を変えたいという青年運動が広がっています。コロナ禍の下で、食料支援の活動が活発です。これらの青年運動に、市民の会として全面的に支援していきます。
- ⑤市民要求運動に基づき、議会への請願・陳情がなされます。市民の会としても協力し、支援していきます。とりわけ、毎年の概算要求時期に、市民の会として総括的な概算要求をし、当局と交渉していきます。
- ⑥組織体制: 活動方針を実践するために、役員人事を補充・充実させるとともに、諸会議を定例化します。

第439回さよなら原発! 金曜行動 2か月ぶりに再開されました

10月1日(金)小倉駅前デッキで、第439回さよなら原発!金曜行動がありました。8月、9月の2か月間は、コロナ禍による緊急事態宣言が持続していたため、金曜行動は自粛しておりました。

さよなら原発北九州連絡会の深江事務局長、棚次会長はじめ、数名でのリレートーク。原発ゼロ法案の国会審議を求める署名活動もしました。これから毎週金曜日、継続していきます。どうぞ、ご参加ください。



原発の危険性を訴える
深江事務局長(左)

福岡市民連合と平和ネット 「選挙に行こう!」アピール宣伝

10月3日(日)、福岡市民連合の呼びかけに応じて「平和をあきらめない北九州ネット」が、小倉駅と黒崎駅で「選挙に行こう!」アピール宣伝をしました。

●小倉に参加した藤本修子さん(FB)

3日秋晴れの下、午後2時。JR小倉駅は人通りがいつになく一杯。平和をあきらめない北九州ネットが市民連合と一緒に「選挙へ行こう」行動を展開した。各団体の横断幕やプラカードにリレートーク。あいにく衆議院選挙候補者は翌日の国会開会準備で来なかったが市民連合に賛同する市議会議員も参加し各人、しゃべるしゃべるしゃべった。

●黒崎に参加した竹内俊一さん(FB)

今日は14時から県下主要個所で同時刻「選挙に行こう!」アピール宣伝。北九州市内は小倉駅前と黒崎駅前。いつものことながら、女性陣にがちり固められての街宣で、それぞれでリレートーク。みんなこの間の安倍・菅政治で働く現場、生活がひどく壊され、政治の腐敗がどれほど広がったか、そんなことを織り交ぜながらのトークでした。今日の行動の様々な方面の呼びかけの中で、市民連合ふくおかの旗を抱えてきた方も参加してました。それにしても、日曜の黒崎駅前是人通りが少ない。平日でもそうなんだけど、やはり、さびれているんでしょうねえ。昔は小倉駅にも負けないうぐらいの乗降客だったのに…。



八幡市民会館の活用を求める連絡会開催

10月8日(金)、コロナ禍の下、か月延期されてきた連絡会が開かれました。埋蔵文化センターを八幡市民会館に移転する事業は大詰めの段階にきているという認識の下、熱心な討議が繰り広げられました。



これまで連絡会は、移転事業に関する市長あて質問状を提出(6/28)、これに対するあまりにも酷い回答を受け取っている。また、これに関してドコモに対して「当局見解を是認しているのか」という問い合わせを送付、返答(9/7)に関する会員の評価・意見書を検討した結果、ドコモは用途変更を容認しており、私たちがめざす保存・活用にとって依拠できる存在ではないという共通認識となりました。12月議会ははじめ今後の対応を協議。合意事項として、存続の会および連絡会の「これまでの取り組み」をまとめ、来年3月を目途にパンフレットを作成することが決まりました。

次回連絡会は、11月19日(金)13:30 大谷市民センター。

平和ネットがzoom会議

10月11日(月)、「平和をあきらめない北九州ネット」は、zoomで定例会議を持ちました。主な議題は10月16日(土)の小倉駅集会(14:00~15:00)の持ち方について。候補者の参加確認、メッセージとリレートーク弁士など詳細を決定しました。衆議院選挙後の平和ネットの活動として、11月3日(文化の日)14:00 小倉駅で街頭宣伝活動に取り組むことを決めました。次回会議は、11月12日(金)18:00第1法律事務所 zoom会議。